



DYFLEX

EverBond® SS#1
JIS A 6024 : 2008 適合

JAIA-008754 F ☆☆☆☆
JAIA-403189 4VOC 基準適合

硬質形 低粘度形 湿潤用 水中硬化型エポキシ樹脂注入材

エバーボンド® SS#1

エバーボンド® SS#1 は、湿潤面や水中で硬化する低粘度形エポキシ樹脂注入材です。
漏水を伴うひび割れやセパ穴 (P コン) 等にも十分な接着力を発揮し、止水と構造物の補強ができます。



1. 施工前 (漏水状況)



2. コア穿孔 (25φ)



3. 漏水個所のカット



4. プラグSSのセット



5. 止水セメントのシール



6. エバーボンド® SS#1 の注入

エバーボンド® SS#1 の特長

- 水中や湿潤状態のコンクリートへの接着性に優れています。
- 低粘度形の為、微細なひび割れにも注入する事ができます。
- 漏水を伴うひび割れやセパ穴 (P コン) にグラウトプラグ SS を用いて止水とコンクリートの補強ができます。

エバーボンド® SS#1 の用途

- 漏水を伴うコンクリート構造物のひび割れやセパ穴 (P コン) の注入材
- 湿潤面のひび割れの注入材と湿潤面のエポキシ樹脂モルタル用プライマー
- 床面アンカーボルト定着材
- コンクリート構造物の打継時の接着材

性状

| 項目 | 測定条件 | 主剤 | 硬化剤 |
|------|--------------------|------------------------|------------|
| 主成分 | — | エポキシ樹脂 | 変成脂環式ポリアミン |
| 外観 | — | 淡黄色透明液体 | 淡褐色透明液体 |
| 混合比 | (重量比) | 主剤：硬化剤 = 2：1 | |
| 可使時間 | 温度上昇法 (23℃ / 150g) | 30分以上 (23℃ ± 2℃) | |
| 混合粘度 | JIS A 6024 に準拠 | 100 ~ 1,000 (23℃ ± 2℃) | |
| 混合比重 | 比重 カップ法 | 1.10 ± 0.10 | |

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。※可使時間については、材料や使用条件等により、本資料と異なる結果を生ずることがあります。

物性データ JIS A 6024:2008 (建築補修用注入エポキシ樹脂) 品質規格に基づく試験

| 試験項目 | 試験条件 | 試験結果 | JIS 規格値 |
|------------|-----------|----------------|-------------|
| 粘度 (mPa・s) | 23 ± 0.5℃ | 660 | 100 ~ 1,000 |
| 接着強さ (MPa) | 標準条件 | | 6.9 |
| | 特殊条件 | 低温時 | 7.1 |
| | | 湿潤時 | 6.8 |
| | | 乾湿繰返し時 | 6.6 |
| 硬化収縮率 (%) | 標準条件 | 0.7 | 3 以下 |
| 加熱変化 (%) | 質量変化率 | 110 ± 3℃ (7日間) | 1.8 |
| | 体積変化率 | 110 ± 3℃ (7日間) | 1.5 |
| 引張強さ (MPa) | 標準条件 | 41.0 | 15.0 以上 |
| 引張破壊伸び (%) | 標準条件 | 5.7 | 10 以下 |

上記の試験測定値は、社内試験結果です。

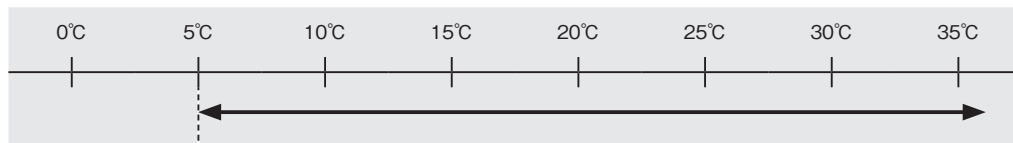
硬化物性 (社内規格値)

| 試験項目 | 試験方法 | 単位 | 社内規格値 |
|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 引張強度 | JIS A 6024 | N/mm ² | 30.0 以上 |
| 曲げ強度 | JIS K 7203 | N/mm ² | 50.0 以上 |
| 圧縮強度 | JIS K 7208 | N/mm ² | 60.0 以上 |
| 引張剪断接着強度 | JIS K 6850 | N/mm ² | 10.0 以上 |
| 硬度 | JIS K 7215 | HDD | 50.0 以上 |
| 水中接着強さ (コンクリート歩道板) | 建研式引張試験器 (破壊状況) | N/mm ² | 2.0 以上 (コンクリート破壊) |

包装容量

3kgセット (主剤:2kg、硬化剤:1kg) × 2セット/ケース

材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 25F 私書箱第 6086 号
TEL. 03-6864-0751 FAX. 03-6864-0752